

タイムライン試行版の検討経緯と概要

室蘭開発建設部 治水課長 天野 聡

「沙流川日高町富川地区水害タイムライン試行版」完成報告
平成30年3月14日（水）11:00～12:00
日高町門別総合町民センター 2階 大集会室

《タイムラインとは》

背景

- 2012年のハリケーンサンディによる災害を軽減するための「被害の発生を前提とした事前防災行動計画（タイムライン）」が効果を発揮した。
- ニュージャージー州は大規模な高潮浸水被害が生じた地域であったが、計画に基づいた事前行動により被害を最小限（犠牲者ゼロ）に抑えられた。
- 米国の法体系や行政機構は我が国と異なっており、この行動計画をそのまま適用することは難しいものの、その思想と方法は活用することが可能だとの認識が広まり、日本でタイムラインとして運用され始めている。

タイムラインとは

- 自治体・関係機関・地域住民・民間団体等が、災害やそれに伴うリスクを共有し、災害（警戒）時に、「いつ」「誰が」「何をするのか」を時系列にとりまとめた事前防災行動計画である。これにより迅速に、円滑にそして適確に行動できることを目指す。

対象とする災害

- 減災行動を起こすための猶予時間がとれる災害（風水害、土砂災害、高潮災害、暴風雪災害など）

《検討の目的》

■水害対応における問題

- 情報収集伝達の不全
- 防災対応の意思決定遅れ
- 災害対応の準備不足
- 対応職員の人材不足

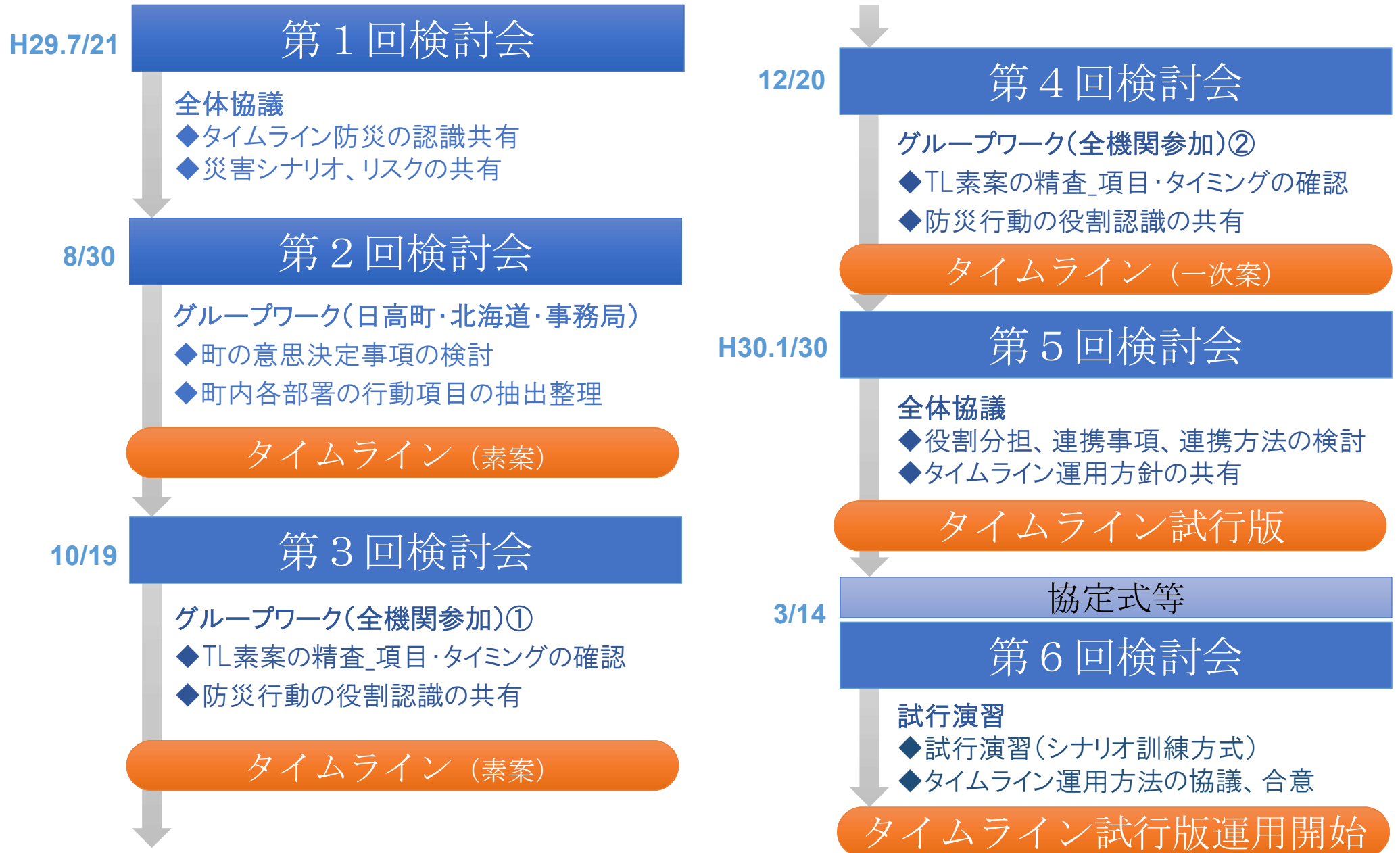
■問題解決に必要な視点

- 災害リスク地域の住民・自治体・防災関係機関が連携し、情報や人員・資機材等を融通しながら地域全体で人命を守る対応を行う体制や関係の構築
- 災害発生の可能性を早い段階から共有し、リードタイムを活かして実施する防災行動

《タイムライン検討の目的と方針》

- 現場対応者の安全を確保しつつ、必要なマンパワーのもとで早めに十分な防災対応を実施するため、意思決定や防災行動を実施する時期を予め整理する。
- 自機関の防災対応の抜け・漏れを防ぎ、他機関の動きを見据えた行動をするため、各機関の防災対応の内容・実施タイミング・支援方法などを一つの表で整理し、確認し合う。
- 各機関が持つ防災情報や防災対応の内容を共有するため、検討過程において地域の住民・自治体・関係機関が顔を合わせて協議・調整を行う。

《検討経緯》



第1回検討会



H29.7.21

第2回検討会



H29.8.30

第3回検討会



H29.10.19

第4回検討会



H29.12.20

第5回検討会



H30.1.30

《検討経緯》

平成29年7月21日の検討会を皮切りに、これまで**5回の検討会と検証訓練**を開催。**沙流川流域19の関係機関が参画**し、「意思決定」、「住民避難支援」、「住民安全対策」、「河川インフラ対策」、「社会インフラ対策」の**5つのグループに分かれ**、水害警戒時から水害拡大の可能性がなくなるまでの一連の機関における『**防災行動項目、防災行動の実施タイミング**』の**整理、確認**を行った。このあと、**検証訓練**を実施し、運用上の問題点や課題を抽出し、**試行版を完成**させる。

第1回検討会 平成29年7月21日（金）

第1回検討会では、シナリオ災害の際、「どんな被害が想定されるか」、「何をすべきか」、「どんな課題があるか」の3つのテーマごとに取り組むべき防災行動について情報共有した。



町長挨拶



参加機関との意見交換

第2回検討会 平成29年8月30日（水）

第2回検討会では、前回出された防災行動項目の内容を確認し、各グループごとに行動タイミングを整理した。



グループワーク



防災行動項目の抽出

第3回検討会 平成29年10月19日（木）

第4回検討会 平成29年12月20日（水）

第3回及び第4回検討会では、「タイムライン素案」を基に防災行動の実施のタイミングの整理を行った。



グループワーク



タイムライン素案の精査

第5回検討会 平成30年1月30日（水）

第5回検討会では、素案を精査した「タイムライン一次案」を基に、「読み合わせ」形式で行動主体、役割、連携項目の確認を行った。



全体読み合わせ



全体講評

■災害シナリオ・災害リスク

平成15年洪水の実績を基礎に現在の予警報基準を加味して設定

■意思決定トリガー・タイミング

警報や予測情報に基づき意思決定の時期を設定

■各機関の防災行動（何を）

既存の計画等をもとに他機関と関わる詳細の防災行動を抽出

■行動タイミング（いつ）

防災情報や意思決定に基づき行動の実施時期を設定

■防災行動の役割・連携事項（誰が）

防災行動の主体機関・支援機関等を整理し連携事項を確認共有

■模擬運用による改善〔※予定〕

検証訓練によるタイムラインの課題抽出及び改善を図る

《試行版の概要》

■状況・情報

意思決定の参考に
する状況や防災情報を記載。

■目安時間

H15洪水を参考に目安となる時間的猶予を記載。

■行動項目・細目

防災行動の具体的内容や補足情報を記載。

沙流川日高町高川地区水害タイムライン試行版

状況・情報	目安時間	行動項目・細目	行動項目		参加機関
			行動項目	行動項目	
状況・情報	目安時間	行動項目・細目	行動項目	行動項目	参加機関
...

■参加機関

検討及び運用に参加する
機関名を記載。

■役割分担記号

行動の主体・支援・情報
受領等の役割を記載。

■タイムラインステージ

意思決定をもとに
参加機関が一斉に行う
防災行動の段階。
ステージが高いほど
発災のリスクが高まって
いることを示す。
(背景色のある部分は、
レベル切替の判断のため
に行う防災行動)